

防災学習をご検討中のみなさま

防災学習に中越大震災メモリアル施設を活用してみませんか？

令和7年度

震災メモリアル施設見学にかかる 交通費補助プログラムのおしらせ

本プログラムでは、中越メモリアル回廊施設*の見学、学習にかかる交通費の全額補助が受けられるほか学習計画のアドバイス、見学コース提案、事前講座（ゲスト講師派遣）など防災学習全般を支援します。

POINT1

移動にかかる**バス代を全額補助！**

バスの手配もおまかせ！
参加児童・生徒の人数による制限はありません！

POINT2

見学コースを**コーディネート！**

学習進度、学習テーマに合わせて
最適なプランを提案します！

POINT3

他の目的地への**よりみちも可能！**

震災メモリアル施設プラス
他の施設の見学可能！（くわしくは裏面）

POINT4

授業相談、**出張講座**にも対応！

校外学習の前に事前講座を加えることで
興味をもって学習に臨めます！



中越メモリアル回廊
The CHU-ETSU Earthquake Memorial Corridor

中越メモリアル回廊とは？

2004年に発生した「新潟県中越大震災」の教訓と災害からの復興伝承を目的に整備された災害メモリアル施設。4つの拠点施設と3つのメモリアルパークで構成されています。

「長岡震災アーカイブセンターきおくみらい」
「やまこし復興交流館おらたる」
「川口きずな館」
「おぢや震災ミュージアムそなえ館」

「妙見メモリアルパーク」
「木籠メモリアルパーク」
「震央メモリアルパーク」

メモリアル回廊HP
アクセスはこちら



【ご理解、ご協力をお願い】

- ・本事業は「中越大震災の教訓を次の世代へ伝える活動」を主要テーマと位置付けており、長岡市内の小中学校に重点的に対応します。（長岡市外の団体からのお申込みも受け付けますが、長岡の子どもたちへの学習支援を優先させていただく場合があります）
- ・各施設が実施している有料プログラム、イベント等の参加費、語り部費用、材料費など、メモリアル回廊施設以外への入館料や費用が必要となる場合は各自のご負担となります。
- ・1団体（学校）につき年間1回のお申し込みとさせていただきます（令和7年度末まで）。
- ・予定実施数になり次第、お申し込みを締切らせていただきます（見学バス60台程度の活動を目安とします）。



プログラム実施までのながれ

①実施希望・相談

学習目的、見学内容、到達目標、実施時期などをご連絡下さい。（申込用紙でも可）

②事前ヒアリング

スタッフと面談にて学習内容、ご希望の見学コースなど相談、詳細を打ち合わせ。

③コーディネート

ご要望、学習目的に合ったプログラムを設計しバス会社への手配、見学施設への予約等を行います。

④事前講座

ご要望に応じて事前に学校に講師を派遣し、災害の種類やしきみ、日ごろからの備えや豆知識などを学習。

⑤見学実施

ご希望日時に見学、校外学習活動を実施。終了後アンケートにご記入いただき後日送付。

校外学習に出かける前の事前講座（ゲスト講師派遣）が大好評です！
出張講座のみのお申し込みにも対応します！

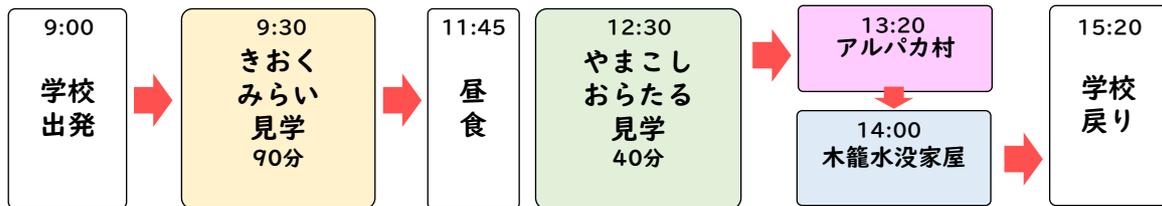
このプログラムは長岡市中越大震災メモリアル基金を活用して運用されています

震災メモリアル施設+長岡市周辺の各種施設見学が可能！

【目的地の例】

- ・長岡震災アーカイブセンターきおくみらい
 - ・やまこし復興交流館おらたる
 - ・川口きずな館
 - ・おぢや震災ミュージアムそなえ館
 - ・妙見メモリアルパーク
 - ・木籠メモリアルパーク
 - ・震央メモリアルパーク
 - ・山古志アルパカ牧場
 - ・中山隧道
 - ・信濃川大河津資料館
 - ・にとこみえ〜る館
 - ・道の駅「ながおか花火館」
 - ・ながおか市民防災センター
 - ・アオーレ長岡（災害対策室）
 - ・県立歴史博物館
 - ・国営越後丘陵公園
 - ・寺泊水族博物館
- …ご要望に合わせてコース設定が可能！

【見学コース例：長岡市内出発の学校が見学する場合】



利用者の声（令和6年度参加校より）

（学校側、指導者より）

- 事前講座から興味をもたせられ校外学習に取り組むことができた。
- 災害が起こった後の出来事や復興のことについて考える機会になった。
- 事前講座で教室の雰囲気が変わり子どもたちの学習意欲が高まった。
- 学習を通じて地域の備えを考えるきっかけになった。
- 見学で防災グッズ実物を目にして具体的なイメージがしやすい。
- 災害後に必要となるものについて考えさせられた。
- 事前学習、校外学習、地域連携への組み合わせが効果的だった。
- 赴任直後で地域の防災特性がわからず学習支援が受けられて助かった。
- 他の施設見学など社会科見学との組み合わせができて良かった。

（参加児童・生徒より）

- またこんな災害が自分の身に起きたらと考えて備えておこうと思った。
- 災害にそなえる4つのそなえ、やってみようと思った。
- 災害が起きた後のほうが大変なことがわかり準備をしておこうと思った。
- 家族とも相談してしっかり備えようと思った。
- 学校だけでなく地域でも災害への備えがいろいろあることを知った。
- 防災グッズを作っている会社が近くにあることを初めて知った。
- テントやキャンプの道具が役に立つことが分かった。
- 普段の準備、そなえが必要なことがよくわかった。
- 避難の方法もいろいろあることがわかった。



【お申し込み・お問い合わせ】

公益社団法人 中越防災安全推進機構（長岡震災アーカイブセンターきおくみらい）

電話：0258-39-5525 FAX：0258-39-5526

eメール：kiokumirai@cosss.jp（担当：赤塚）

きおくみらい 検索